|  |  |
| --- | --- |
| 第4回『心惹かれるものから、これから大切にしていきたいことを見つけよう！』 | 作成者：小野・直井実施日：1月9日 |

**基本情報**

|  |  |
| --- | --- |
| 対象者（生徒・クラスの現状予想。テーマへの関心など。）生徒の現状・第3回までを経て授業が楽しくなっている・しかしそれが最後俺の哲学に繋がることには思い至っていない・それぞれのワークを楽しんでいる・自分について深く考える機会が今まで無かった・「心惹かれるものを集めて来てください！」という宿題が出て「何をするんだろう？」と　授業が待ち遠しいクラスの雰囲気（2組）・周りの人と会話しながら、能動的に授業に取り組む。・「わからない」と言って時間内に書けていない箇所も多いが、周りの人のワークシートも参考にしながら最終的にワークシートを埋めている。テーマへの関心（2組）・ワークの難易度が高いと予定通り進まないが、一応自分なりの解答を出して提出している。・今の時点では、ワークシートで出した答えが本当に「俺の哲学」なのか疑問視しているので、関心を持って取り組んでいる。目的**・どんなものに心を惹かれるか→自分が大切にしたい価値観を納得感を持って深ぼることが　出来る****（自分が大切にしていきたいこととは？）** | 目標（何をもって目的達成とみなすか）・自分が大事にしているものは〇〇！が見つかり、それがワークシートの最後の部分が記入出来ている準備物など・ワークシート（生徒分）・キーワードシート（生徒分）その他（注意事項・授業にかける思いなど）・ワークの大まかな流れ　①心惹かれた一節を集める（5つ以上）　②「共感できるものはあるか」という発問で、深ぼる一節を絞る　③最も共感したものを決め、どんなところに共感したのか考える。　④ペアを組み、お互いの**共感した理由**から、3回ディグる。    ⑤ペアで自分の**これから大切にしていきたいこと**を見つける。    ・「文章」について　歌詞、小説の一節、ポエム、ラップ等自分が好きなものを集める |

**タイムライン（計/50分）**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 構成 | 時間（分 | 活動内容 | 各活動のねらい | 予想される生徒の様子 | 大学生の対応 | 備考 |
| 導入 | 5分 | ・前回の振り返りと今回やることの説明・前回との繋がり、ワークの目的を伝える・どうして「心惹かれるものなのか」、そこから「大切にしていきたいこと」につながる　のか。 | * 1回から第4回は繋がっていて、それがベースとなって「俺の哲学」になることを理解する
 | * 授業間の繋がりは意識しない
* これからやるワークに興味を持つ
* 興味を持たない
* 雑談がある
 | * ワークの手順説明にならないよう、「何のために」をきちんと伝える
* 話している子を巻き込んで問いかけを行う

　♢「2回、3回、4回ってどう繋がるんだっけ？」 | 何のためのワークか、意識づける |
| ワーク | 27分 | ①持ってきた一節について、共感したものがあるか考える。（3分）②最も共感したものを決め、どんなところ　に共感したのか考える。（7分）③ ペアを組み、お互いの**共感した理由**から、3回ディグる。（10分）**④**ペアで自分の**これから大切にしていきたいこと**を見つける。（7分）     | * 歌詞や文章という、自分の身近にあるもの、心動かされるものから自分を見つめていく
* 今まで触れていなかった自分、クラスメートの深い部分と向き合う
 | ・　手が止まる　　　* 歌詞を十分に持って来ていない

・　進度に差が生まれる* 早く終わって退屈している
 | * ファシリはそれぞれに例を大学生の例を提示する

　♢見守る大学生はワーク中に自分の例も見せられるようシートを埋めておく* 声かけをする

♢「どうしてこのフレーズが一番共感できたんだろう？他のものとどう違う？」* その場でいくつか惹かれる歌詞を（3つ）考える

　♢残り時間を伝えて、周りにできるだけ追いつかせる　♢答えに納得できているかどうか質問する　　「納得！」→他のフレーズもディグってみよう！* 20分全てを生徒に任せるのではなく、細かく時間で区切っていく、何分でやるのか、残り時間を提示する
 |  |
| まとめ | 8分 | * 今回の振り返りを記入（6分）
* 次回以降の流れを説明（2分）
 | ・ フィードバックを受けて、俺の哲学を再考する・ 第1回〜第4回が次回以降にどうつながっていくのかを理解する | 振り返りの記入内容が* 「変わらなかった」
* 「面白かった」

次回への繋ぎを聞かない | * 質問で深ぼる「どこが面白かった？」
* 生徒の注目を集めるよう、声かけをする
 |  |